

## JaSPCANおおさか大会が開催されます

### イベントのお知らせ

2016年11月25・26日に日本子ども虐待防止学会（JaSPCAN）の第22回学術集会在大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で開催されます。

その前夜祭として、11月24日（木）18：30から、子どもシェルター全国ネットワーク会議（ぬっくは正会員）主催で、シンポジウムが開催されます！皆様のお越しをお待ちしています。

～シンポジウム「希望のかけはし 子どもシェルターの挑戦」の内容～

- 子どもシェルター利用者へのインタビュー
- ぬっく理事松田陽子さんのミニコンサート♪ など

## ご支援のお願い

～居場所のない子どもたちと

私たちの取り組みをご支援ください～

子どもたちに安心・安全な居場所を継続して提供するためには、公的資金だけでは不十分なのが現状です。

みなさまからのさまざまなご支援をぜひともよろしくお願いいたします。

### ご支援の方法

#### ①支援会員になってくださる方法

- 正会員：ぬっくの理念に賛同して入会し、その運営に参画する会員
- 賛助会員：ぬっくの活動を賛助する（見守り型）会員

正会員	賛助会員(年会費)
入会金 5,000円	個人(1口～) 3,000円
年会費 5,000円	団体(1口～) 10,000円

#### ②現金をご寄付くださる方法

金額に関わりなく大歓迎です。お寄せいただいたご寄付は、子どもたちのために使われています。

ゆうちょ銀行に備付けの振込用紙にご記入の上、ご入金くださるか、ぬっくのホームページから「申込書」をダウンロードし、郵送またはメールでぬっくに宛て送付の上、振込みにてご入金ください。

会費・ご寄付は、以下の振込先口座へご入金ください。

金融機関	三菱東京UFJ銀行	ゆうちょ銀行
支店名	梅田新道支店	〇九九店
種類番号	普通預金0206469	当座預金0208341
口座名称	特定非営利活動法人 子どもセンターぬっく	特定非営利活動法人 子どもセンターぬっく

#### ③物品をご寄付くださる方法

食料品、日用品、消耗品、衣類、金券類など、子どもシェルターや、退居後の子どもの生活で使用させていただけるもの

※ご送付前に事務局へご連絡ください。

※協力くださっている「チャリティショップめぐりもの」（大阪市北区に2店舗あります；詳細はFacebookをご覧ください）へも直接お送りいただけます。

めぐりもの売上金から経費を除いたお金がぬっく等へ寄付されます。

## 子どもを支える“ぬっくメイト”も募集中♪

ぬっくメイトは、ぬっくハウス入居中から子どもとふれあい、主に退居後の生活を支援していただく無償・有償ボランティアです。

料理・洗濯・買物・掃除などの支援  
役所での手続や通院などの同行支援  
学習支援

スポーツ・手芸・絵画・ピアノ・ギター  
アロマ・ヨガ・マッサージなどリラックス支援  
カウンセリング、トラウマ治療などの専門的支援  
経済的支援 など

### ご寄付・助成への御礼

現在に至るまで、多数のご入会・ご寄付・助成を頂き、本当にありがとうございます。皆様のご支援により、ぬっくハウスの立ち上げ・運営が実現しました。本来、本誌面にて開設前から暖かく見守りご支援くださった皆様へ御礼を申し上げなければならぬところですが誌面の都合によりかえりませんでした。

次号より、ご了承頂いているご支援者の皆さまを順次ご紹介させていただく予定です。ご理解いただければ幸いです。



ぬっくハウスの様子

お問い合わせは…ぬっく事務局へ

**NPO法人子どもセンターぬっく**

☎530-0047 大阪市北区西天満4丁目1番4号

第三大阪弁護士ビル503号

（葛城・森本法律事務所内）

☎ 06-6355-4648/06-6130-2930

☎ 06-6355-1213

✉ kodomo@nukku.info



News Letter vol.1



CONTENTS

- ぬっくハウス開設のご挨拶
- 設立記念シンポジウム開催のご報告
- スタッフ・ボランティア養成講座のご報告
- ぬっく活動カレンダー
- ぬっく事務局よりイベントのお知らせ

## ぬっくハウス開設のご挨拶

今年4月から、虐待等により、家庭や施設に居場所のない子どもたちのための緊急一時保護の家として子どもシェルター「ぬっくハウス」を始めました。4月の開所から10月3日現在で、35名の相談があり、うち11名の子どもが入居に至り、7名が次の居場所へと旅立っていきました。

ぬっくへたどりつく子どもたちは、みな、大人は信用できない、大人は嫌いだと言います。口に出して言う子もいれば、刺すようなまなざしから感じ取れる子どももいます。どの子も愛情を十分に受けられずに育ってきていると感じます。そんな子どもたちは、愛情を強く求め、ときには親や彼氏を理想化してしまったり、親などを求める気持ちに代えてもらえない現実を知るにつけ、コントロールし難いほどの激しい怒り、絶望、孤独などを抱いたりしているようです。

そのため、ぬっくでは、暴言や暴力に脅かされることなく、三食の手作りのごはんを食べ、安心してゆったり過ごし、眠ることのできる生活を大切にしています。スタッフや子ども担当弁護士やボランティアが、緩く暖かなまなざしで近くに居て、甘えられる存在であることを大切にしています。数ヶ月という短い期間ではありますが、そのような環境の中で、「大人は嫌な人ばかりではない。信頼できる人もいるんだな。」「甘えたり、すねたり、イライラをぶつつけたりすることがあっても、変わらず一緒にいてくれる。」「なんだか

暖かい、ほっとする。」と実感してもらえたらいいなと思っています。

ぬっくハウスを訪れた関係者の方やボランティアの方などからは、アットホームですね、きちんと掃除が行き届いていますね、ごはんおいしいですね等とさせていただくことも少なくなく、スタッフやボランティアの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。また、ぬっくハウスを出たがらなかった子どもが「ぬっくハウスを出た後の新しい生活も今は楽しみでもあるねん」と話してくれたり、「十分愛情をもらったよ。」と喜んでくれたりするのを聞くと、純粋にありがたく、うれしい気持ちになります。

まだまだいろんな課題はあるものの、多くの方に支えられて、ようやく7か月目を迎えることができました。今後、過酷な状況に置かれた子どもたちが現実に身近に存在していることを、一人でも多くの方に知っていただくとともに、ぬっくが今必要としているさまざまな支援の形をわかりやすく示していけるように努力していきたいと思えます。

まだ生まれたばかりの“ぬっく”ですが、みなさまとともに大切に育てていけたらと思っています。今後も、どうぞ変わらぬご理解やご支援をよろしくお願いいたします。

（理事長 森本 志磨子）

～設立記念シンポジウム（2015年10月）開催のご報告～

多くの参加者の熱い期待をひしひし感じる会となりました。

2015年10月31日、大阪弁護士会館において、NPO法人子どもセンターぬっくの設立記念シンポジウムを開催いたしました。基調講演では、社会福祉法人カリヨン子どもセンターの理事長であり、弁護士の坪井節子さんから、カリヨンの取り組みについてお話しいただきました。

カリヨンでは、「子どもの権利条約」や「少年非行予防のための国連ガイドライン」における「子どもの問題行動は、幼児期の人権侵害の蓄積の結果だ」という考え方を基に、人間として尊重され、人権を保障されるとはどのようなことを子どもたちに伝えるために、「子どもとおとなの対等かつ全面的なパートナーシップ」を大事にした接し方を心がけているそうです。

社会福祉法人カリヨン子どもセンター  
TEL 03(5981)5581 FAX 03(5981)5582  
http://www.carillon-cc.org/



ぬくもりを与えられる活動をめざして。

シンガーソングライターで、ぬっくの理事でもある松田陽子さんの歌と語りについて、第3部は鈴木正彦さん（大阪府岸和田子ども家庭センター所長）、子どもシェルターを巣立った当事者の方、高橋直紹さん（NPO法人子どもセンターパオ理事・弁護士）、坪井節子さんをパネリストに迎え、「10代後半の居場所のない子どもに必要な支援とは」のテーマでパネルディスカッションを行いました。

鈴木さんからは、大阪府下の児童相談に関する統計資料とともに、子どもたちが置かれている現状についてお話しいただきました。カリヨンを巣立った当事者の方からは、カリヨンに辿りついた経緯、カリヨン入所中に感じていた思いなどについてお話しいただきました。これまで多くのつらい経験をされながらも、現在では、シェルターで平穏な日々を送る中で見つけた夢をかなえ、次なる夢について生き生きと語る



和やかに語りあうパネリストのみなさん

また、①生まれてきてよかったね、ありのままのあなたでいいよ、②ひとりぼっちじゃないんだよ、③あなたの人生は、あなた自身が歩くんだよ、というメッセージを子どもたちにつたえているとのことでした。

愛情に飢え、大事に見守られてこなかった子どもたちは、様々なケアを必要としています。安心してゆっくりくつろげる居場所を子どもたちに提供するために、子どもを真ん中にして、医療・教育・福祉などの多機関にわたる専門家がスクラムを組むこと、これがカリヨンの基本姿勢であり、強味なんだと感じました。

休むことなく前進を続けるカリヨンと、その大黒柱である坪井先生のお話は、子どもシェルター設立に向けた一歩を踏み出した私たちに、勇気と希望を与えてくれました。

（運営委員S）



熱唱する松田陽子さん

彼女の様子に、多くの参加者が胸を打たれました。また「シェルターで好きなだけ話を聞いてくれる大人たちと出会い、大人に対する不信感がなくなった」「シェルターは生きるきっかけをつくってくれた」「今後もシェルターが夢を与える場所としてもっと全国に広がっていったら」といった彼女の言葉は、ぬっくハウス開設に向け奮闘していた私たちに大きなパワーを与えてくれました。高橋さん、坪井さんのお話からは、つねに困難な環境にある子どもたちに必要な支援のあり方について考え、とぎれない支援を行うべく尽力されていることを窺い知ることができました。

ぬっくも、これから多くの方々のご協力のもと、子どもたちの心にじわっとぬくもりを与えられるような支援を行えるよう活動していきたいと思っております。

（運営委員Y）

研修報告

1

2015年9月19日 スタッフ・ボランティア養成講座 1日目

示唆に富んだ刺激的な講義が盛りだくさんの濃い一日でした

初日の1講義目は、「子どもセンターぬっくと子どもの権利」というテーマで森本理事長がぬっくの取り組みについてお話ししました。大阪府内の子どもたちの深刻な実態や、これ以上「子どもをひとりにしない！」というぬっくの想いなどを紹介しました。

続いて2講義目は、津崎理事による「児童相談所の役割と機能～児童相談所運営指針 概要ポイント」でした。虐待が発生する家庭はハンディのある家庭であり、本来は地域で支える必要があるのに、それが事件処理のスピード優先でできなくなっているというお話に大変共感しました。

3講義目の大阪大谷大学の桜井智恵子さんからは、子どもに話を聴かせてもらうという真摯な気持ちを持つことが重要だと教えていただき、肝に銘じなければと思いました。

4講義目は乾理事から児童養護施設の実態を学びました。

研修報告

2

2015年10月4日 スタッフ・ボランティア養成講座 2日目

支援者自身のセルフケアの重要性にも気づかせてくれた貴重な講義ばかりでした

2日目第1講は、廣瀬理事から母子生活支援施設についてお話しいただき、続く第2講は性暴力被害支援センター大阪SACHICO代表である産婦人科医の加藤治子さんから、性暴力被害者（特に未成年者）が受ける困難やアフターケアなどについてお話いただきました。

第3講では臨床心理士の浅野恭子さんによる「思春期の子供の実情と支援のあり方」についての講義でした。児童自立支援施設の説明や、これまで出会った女子たちと交わした会話で心に残ったことなどをお話いただきました。

最後に参加者全員によるワークを行い、それぞれの方のこれまで歩んでこられた活動などをお聞きし、たくさんの学びをいただきました。

ぬっく活動カレンダー

このほか、2週間に1度運営会議を開催

～2016.4.1

- 2014年
  - 5月16日 準備会 講師：（特非）そだちの樹清水さん
  - 8月20日 カリヨン事務局との面談
  - 8月25日 準備会&勉強会 講師：（特非）子どもセンターてんぼ高橋さん、（公社）子ども情報研究センター大森さん
  - 11月25日 勉強会 講師：里親ファミリーホーム橋本さん、児童養護施設長川口さん
- 2015年
  - 1月21日 準備会 講師：元大阪府子ども家庭センターCW神田さん
  - 2月20日 準備会 講師：（特非）子どもセンターののさん安保さん
  - 4月14日 児童自立援助ホーム ボ・ドーム見学
  - 4月21日 勉強会 講師：大阪府大看護学類看護学研究科准教授大川さん
  - 5月18日 大阪市こども相談センター職員との意見交換  
（その後、大阪府・堺市とも数回面談）
  - 5月30日 （特非）子どもセンターぬっく設立総会
  - 6月22日 勉強会 講師：フェミニストカウンセリング堺 加藤さん
  - 7月30日 子どもセンターののさん見学、準備会
  - 8月5日 勉強会 講師：佛協大学社会福祉学部講師長瀬さん
  - 8月10日 びあ・かもみーる見学
  - 8月27日 （特非）リバイブ・ハウス（更生施設寮）見学
  - 9月19日 第1回スタッフ・ボランティア養成講座1日目
  - 10月4日 第1回スタッフ・ボランティア養成講座2日目
  - 10月31日 設立記念シンポジウム
  - 11月11日 勉強会 講師：大阪府立母子保健総合医療センター佐藤さん
  - 11月20日 「日本子ども虐待防止学会 第21回学術集会にいがた大会」分科会にて発表
  - 12月15日 大東中央ロータリークラブへの説明
- 2016年
  - 2月13日 第2回スタッフ・ボランティア養成講座1日目
  - 2月22日 勉強会 講師：女性相談センター所長 森泉さん、次長若柳さん
  - 2月23日 第2回スタッフ・ボランティア養成講座2日目
  - 3月28日 勉強会 講師：里親ファミリーホーム土井ホーム土井さん
  - 4月1日 **子どもシェルターぬっくハウス開所！！**

